空き家を活用した
「としま・まちごと福祉支援PJ会議」vol.10
プロジェクト

豊島区 TOSHIMA CITY

3 すべての人に健康と福祉を

NPO法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 理事長
栗林 知絵子さんを迎えて

WAKUWAKU ネットワークが育んできた
地域で見守るとしまの子ども

セミナー講師
栗林 知絵子さん

いまや全国に広がった「子ども食堂」の活動。豊島区がその先駆者のひとつであったことをご存知ですか？
地域の子どもを地域で見守り育てるという理念を掲げて
長年活動してこられた、NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク
理事長の栗林知絵子さんにこれまでの活動を振り返っていただき、
子どもの居場所とまちで大人とつながることの大切さ、
これからの豊島区に必要なもの、コロナ禍のいま必要な支援、などについて
お話しいただきたいと思います。

開催日：2020年 11月12日(木) 16：00～18：00

会場：共生サロン南池袋 豊島区南池袋3-13-9　ビスハイム池袋202（会場MAPは裏面参照）

定員：zoomオンラインイン 100名限定　会場は20名限定

お申し込みはコミュニティネットワーク協会へ。メールでの予約は2日前まで。その後は、電話でお問い合わせ下さい。
ご予約の際は、zoomか会場でのご参加か、ご希望も明記の上ご連絡ください。

参加費無料

プログラム
＜第一部＞講演60分
＜第二部＞会場とオンラインの質疑応セッション　30分
＜第三部＞共生サロン南池袋および共生ハウス西池袋の紹介15分

お申し込みフォームはこちらから▶

Zoom 参加方法
パソコン・スマホを持っている方ならどなたでも参加できます。
視聴をご希望の方は下記お問い合わせより事前申し込みが必要です。

12日当日15:45よりミーティングルームをオープンします。
繋いだ方は、パソコンの音量はONにしたまま
右のZoomの画面設定で音が出ないようにしてください。

お問い合わせ
一般社団法人コミュニティネットワーク協会
TEL：03-6256-0570
FAX：03-6256-0572
Mail：support@100com.jp

主催:一般社団法人コミュニティネットワーク協会　　後援:豊島区

空き家を活用した

〈都心部の孤立と貧困を解決する〉

としま・まちごと福祉支援プロジェクト

～豊島区から発進する、多文化・多世代共生型コミュニティ～

豊島区内の空き家物件を、セーフティネット住宅（高齢者、障害者、生活困窮者などの入居を拒まない賃貸住宅）として活用し、見守りを行う仕組みを作ります。また見守りを行うための拠点を池袋駅周辺に1つ、その他豊島区内に1つの2カ所作り、全ての人たちが利用でき、楽しめる交流拠点としても活用いたします。

「空き家を活用した『としま福祉支援プロジェクト』」は
国土交通省 住まい環境整備モデル事業・
豊島区　共同居住型住宅の改修費助成事業です。

としまプロジェクト
webサイト

セーフティネット住宅共生ハウス西池袋

交流拠点共生サロン南池袋では様々な講座が開催中

としま・まちごと
福祉支援プロジェクトを
応援しています！

栗林 知絵子さん

NPO法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 理事長
2012（平成24）年設立、翌年NPO法人格を取得。
以来「要町あさやけ子ども食堂」、「夜の児童館」、「池袋本町プレーパーク」、「WAKUWAKUホーム」、「フードパントリー」などさまざまな事業を展開。2018（平成30）年「第8回地域再生大賞 準大賞」など受賞歴も多数。

豊島区は家賃が高くて、住まいについてはWAKUWAKUもひとり親さんから相談を受けることがちょくちょくあります。子どもが大きくなってきて、もう一部屋ほしいけれど、これ以上の家賃は払えない・・・

「としま・まちごと福祉支援プロジェクト」は、高齢者、障害者、生活困窮者などの入居を拒まない賃貸住宅で、豊島区在住であれば家賃補助も出るときき、素晴らしい取り組みだと思っております。

としま I♥PJ

一般社団法人コミュニティネットワーク協会とは

阪神淡路大震災の被災者支援を機に、在宅医療に取り組んできた医療チームが中心になり、1999年に設立しました。世代、健康状態、生活の価値観が異なる様々な人が集い、お互いの生活を尊重しながら、3世代にわたって継承・維持していく「100年コミュニティ」の拠点づくりを目指しています。

https://www.conet.or.jp

100年コミュニティ　検索

お申し込みは、一般社団法人コミュニティネットワーク協会まで　TEL：03-6256-0570　Mail：support@100com.jp